

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月 26日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170501076		
法人名	医療法人愛全会		
事業所名	グループホームこがね虫の家		
所在地	札幌市南区川沿11条2丁目4-7 (電話)011-578-5064		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月18日	評価確定日	平成20年2月26日

## 【情報提供票より】(19年12月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年1月9日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1~2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	15,000~21,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	月額	43,000円	

### (4) 利用者の概要(1月18日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	2	要介護2	2		
要介護3	5	要介護4	0		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 86.4歳	最低	76歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人愛全会 愛全病院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は商店街に程近く、利便性の高い恵まれた環境に平成12年に開設された。母体法人である医療機関と密なる連携を取り、全職員が利用者の快適で安心した暮らしを目指し、日々のケアサービスに取り組んでいる。また、地域のボランティアとの交流やレクリエーション・系列事業所との合同行事・家族交流会など多彩な行事を実施し、利用者の楽しみや変化のある暮らしを支援している。利用者は園芸や趣味活動など一人ひとりの力を発揮しながら、日々穏やかに生活している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における課題については具体策を検討し、改善に取り組んでいる。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会としており、全職員で取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 利用者家族・地域住民・民生委員・地域包括支援センター職員等を構成員とし、運営推進会議を開催している。会議では地域との関わり合い等について話し合い、地域行事に参加したり事業所行事を地域に周知するなど、会議で出た意見や案を事業所の運営に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 職員は日頃から家族とのコミュニケーションを大切に、来訪時に家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。また、家族交流会を設置したり運営推進会議に家族の参加を呼びかけるなど、より多くの意見を聞けるような工夫をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、地域の行事に参加したり事業所の行事案内を地域に回覧するなど、地域との連携を図っている。また、地域ボランティアが定期的に事業所を訪問したり近隣住民と関わり合いがあるなど、地域との交流が深まりつつある。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で地域密着型サービスの在り方を検討し、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で理念を共有し、日々のケアサービスにおいて実践できるよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の行事に参加したり事業所の行事案内を地域に周知するなど、地域との連携を図っている。また、近隣住民と日頃から関わり合う機会を設けたり地域ボランティアが事業所を定期的に訪問するなど、地域との交流を深めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会としており、全職員で取り組んでいる。また、前回の評価結果を踏まえ、具体策を検討し、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において事業所の活動や評価結果等について報告し、構成員との意見交換を行っている。そこで出た意見や提案を事業所の運営に反映させたり、地域との連携が強まるよう取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>3ヶ月に1度、市の管理者会議に参加したり区の担当者と必要に応じて連絡を取り、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に利用者の日頃の様子を伝えていく。また、毎月写真付きの事業所便りを発行し、事業所の行事等の案内・報告をしている。利用者の健康状態に変化があった場合はそのつど電話連絡し、家族に伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員は日頃から利用者家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。また、運営推進会議に利用者家族の参加を呼びかけたり、家族交流会を設けるなど、家族からより多くの意見等を聞きだせるよう取り組み、事業所の運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職等があった場合は、他の職員が利用者ときめ細かく関わり、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は段階に応じた内部研修を実施し、職員の知識・技術の向上に努めている。また、職員は交代で法人内外の研修に参加し、ミーティング時に研修内容を報告し、共有を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市や区が主催する管理者会議に出席し、同業者と情報交換を行っている。しかし、全職員が他の事業所との相互見学や意見交換等を行うまでには至っていない。	○	今後は他事業所と交流する機会を設け、職員の新たな知見の獲得やネットワークの強化を図ることが期待される。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者本人・家族と一緒に事業所で昼食を摂ったり、数回に分けて荷物の搬入を行うなど、本人が事業所や職員の雰囲気に馴染んでからの入居となるよう配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員が協働して食事の準備や後片付け等を行ったり、漬物作りや昔からの慣習を教えてもらうなど、支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者本人・家族からの聞き取りや関わり合いの中で得た情報等を個別に記録し、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。また、利用者の行動や表情からも思いを汲み取るよう努め、その人らしい暮らしとなるよう支援している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の希望・意向や、ケアカンファレンス時に職員間で話し合っ出た意見を取り入れた個別の介護計画を作成している。また、家族との外出や外泊等を盛り込むなど、利用者の要望に応じた介護計画となるよう取り組んでいる。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に介護計画の見直しを行うとともに、利用者の状況変化に応じてそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の状況に応じて通院の際に付き添うなど、医療機関と連携を取りながら柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者それぞれのかかりつけ医への受診支援を行うとともに、協力医療機関による訪問診療が受けられるなど、適切に支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化した場合の対応に関する指針を作成している。また、利用者本人・家族の意向を確認し、医療機関と連携を取りながら支援している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は一人ひとりに合わせた声かけを心がけ、利用者の誇りを損ねることのないよう努めている。また、個人情報等の書類の保管場所を取り決めており、適切に対応している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	起床時間・就寝時間・食事にかかる時間など、利用者のペースを大切に、遅くまで居間で寛いだ後に就寝する利用者もいるなど、その人らしい過ごし方となるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じて調理・盛り付け・後片付け等を職員と一緒にやっている。また、利用者同士が料理について語り合うなど、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。また、入浴を嫌がる利用者には声かけを工夫し、楽しんで入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理・掃除・洗濯物干し・園芸など、利用者の力を発揮できるよう役割の支援を行っている。また、月に1度ボランティアによる大正琴の演奏会や手芸教室が開催され、利用者の楽しみごととなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など利用者の希望に応じた外出支援を行っている。また、同系列事業所の行事への参加や、花火大会・紅葉狩り・雪祭りなど、季節毎のバスによるレクリエーションを実施するなど、変化のある生活となるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	年未年始等、防犯上の理由から家族了承の上で施錠する場合がある。しかし、日常は職員の見守りの工夫により、施錠することなく利用者が自由に出入りできるよう支援している。また、センサー等の安全装置の設置を検討中である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練を実施しているが、利用者も参加した避難訓練を実施するまでには至っていない。	○	今後、利用者も参加した避難訓練を定期的 に実施するとともに、緊急時に地域から協 力が得られるよう働きかけることが期待さ れる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し、一人ひとりの健康状態に応じた必要量を確保できるよう支援している。また、母体法人の管理栄養士が作成した献立を参考にメニューを組んでおり、栄養バランスを考慮した食事内容となっている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には大きな窓が設置され開放的であり、食堂には季節毎の手作りパッチワークを飾るなど、自然に季節感や生活感を感じられるよう工夫している。また、玄関には生花を置き、食事の時間には音楽を流すなど、利用者の五感を刺激するよう配慮している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や生活用品・思い出の写真等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。また、各居室に洗面台とトイレが設置されており、利用者が居心地良く過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。